

Jミルクが2021年7月30日に公表した「需給見通し(※2021年6月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。  
「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

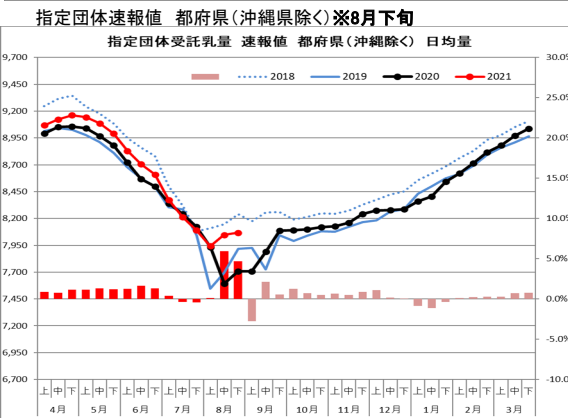
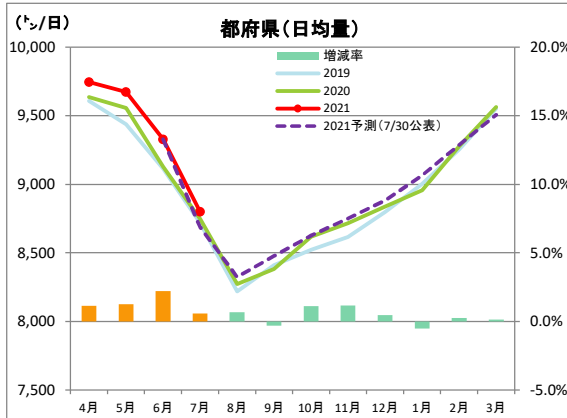
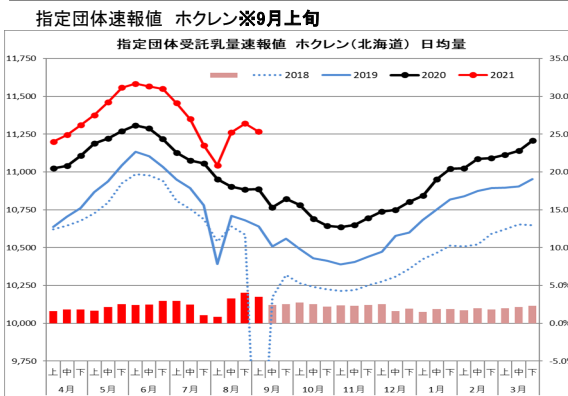
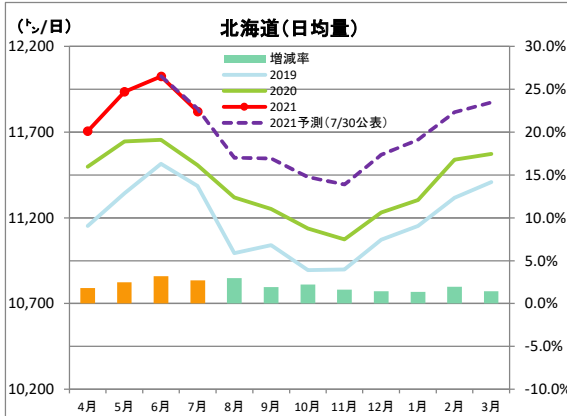
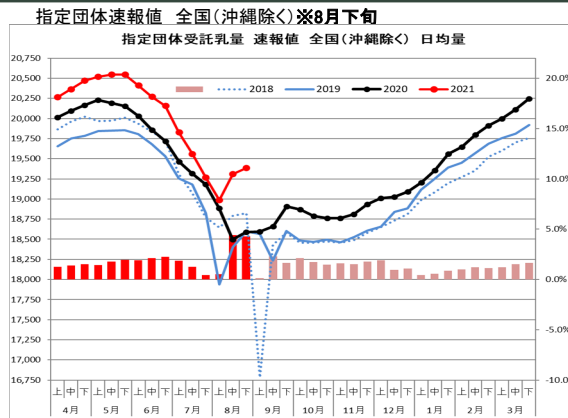
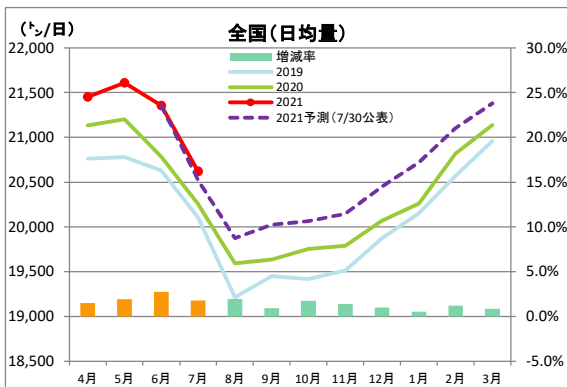
発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

◀家庭内消費の継続的な拡大努力が重要～最需要期にあるものの需給は緩和基調～▶

- ・7月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに好調に推移したが、飲用需要については、前年を大きく下回っており、脱脂粉乳・バター等向の処理量は前年より大きく増加した。
- ・8月の牛乳販売動向(インテージSRI+実績：前年比95.5%、Jミルク予測：前年比96.3%)については、統計が高めに出ることを勘案すると、予測値前後で推移している可能性がある。
- ・直近の動向について、全国的に気温が平年を下回った影響もあり、生乳生産は大きく回復している。一方、9/6週の牛乳類の家庭内消費については、前週(8/30週)から販売個数がさらに減少しており、ヨーグルト類も個食タイプは前年を上回ったものの、低調に推移している状況に変わりはない。なお、家庭用バターについては引き続き前年を大きく上回って推移している。
- ・「緊急事態宣言」等が今月末まで延長となっていることから、業務用需要は厳しい状況が続いているものと考えられる。引き続き家庭用を中心に需要拡大に積極的に取り組んでゆくことが重要となる。

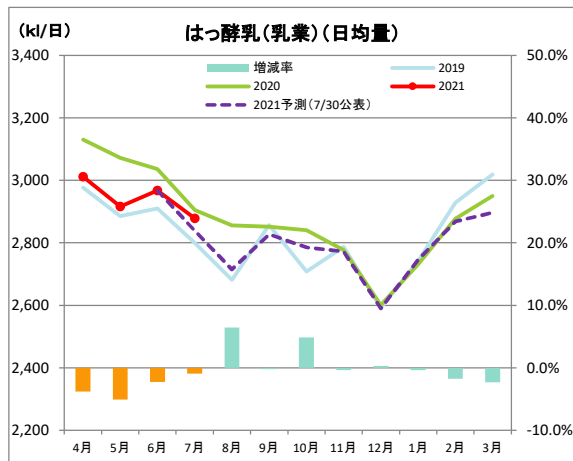
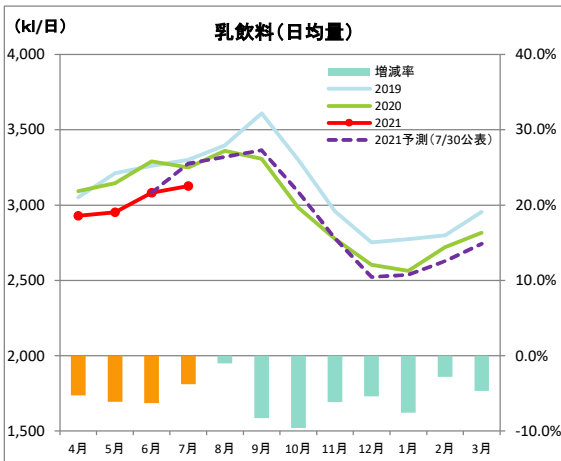
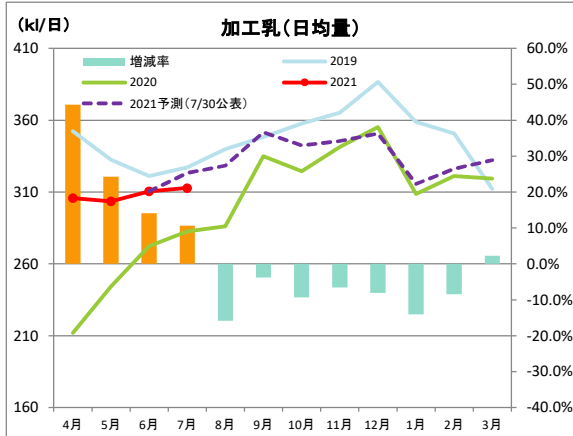
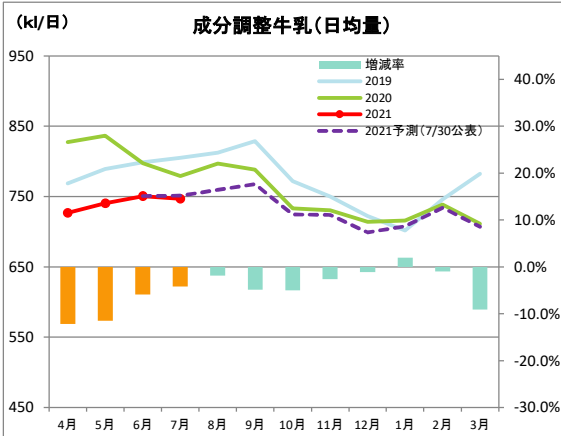
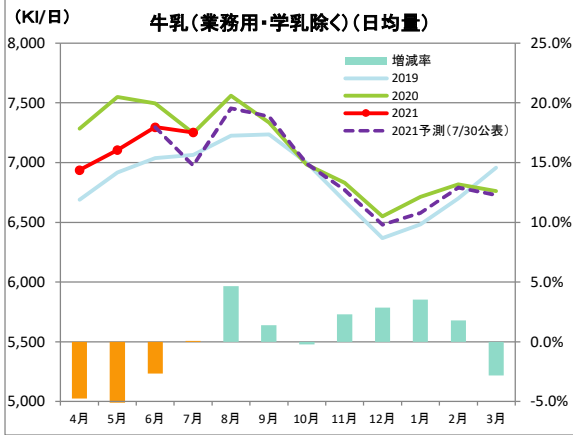
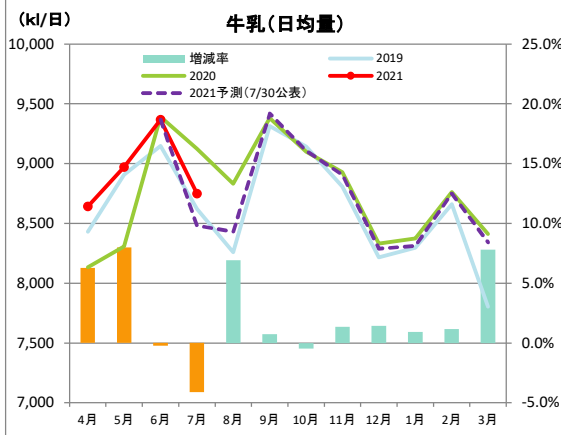
【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1)7月の生乳生産量は、全国639千トン(前年同月比101.8%)、北海道366千トン(同102.7%)、都府県273千トン(同100.6%)。
- (2)Jミルク予測値(全国：636千トン、北海道：367千トン、都府県269千トン)から都府県は上振れして推移している。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 7月の牛乳等生産量は、牛乳271千kl(前年同月比95.9%)、成分調整牛乳23千kl(同95.8%)、加工乳10千kl(同110.6%)、乳飲料97千kl(同96.2%)となり、牛乳類合計では401千kl(同96.3%)となった。  
なお、予測との比較では、牛乳(業務用以外)は上振れ、加工乳・乳飲料は下振れしている。
- (2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同100.1%、「業務用」は同100.2%と前年と同水準となった。
- (3) はっ酵乳(乳業)は89千kl(同99.0%)と前年を若干下回って推移しており、予測値からは若干上振れしている。  
また、非乳業実績(6月)については、同99.6%と前年を若干下回って推移している。

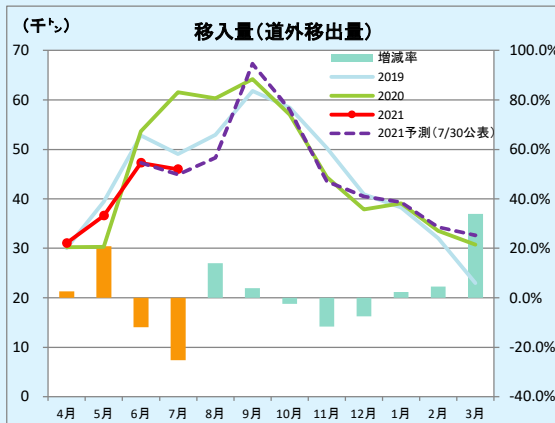
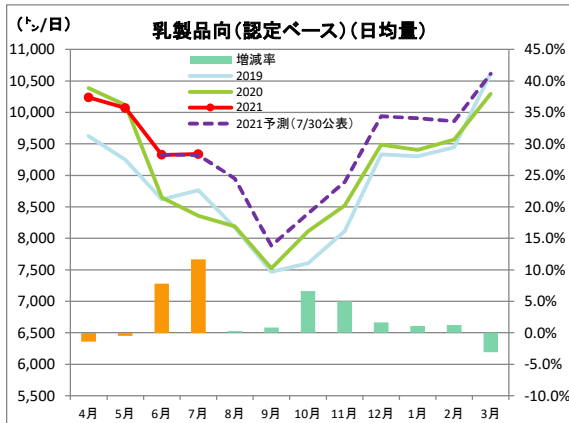
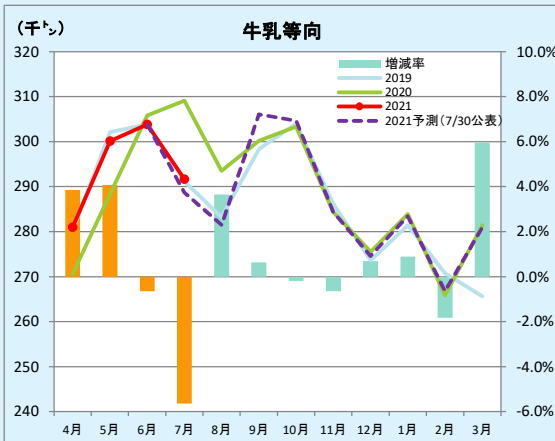
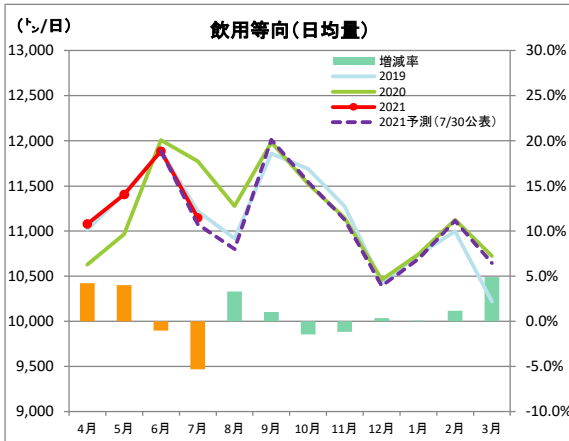
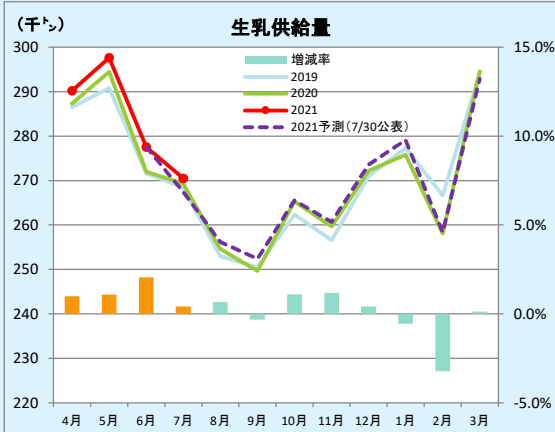
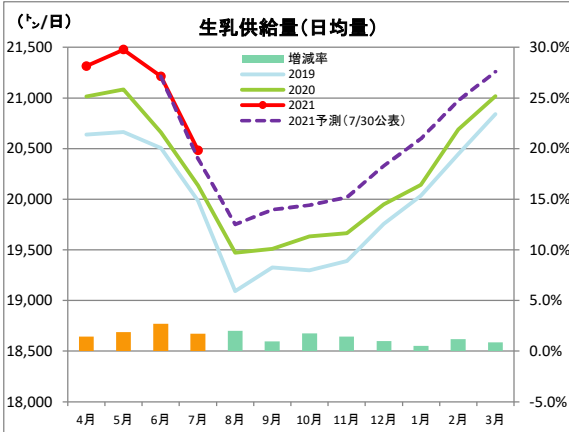


【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の生乳供給量は635千トン(前年同月比101.7%)、飲用等向346千トン(同94.7%)、乳製品向(認定ベース)289千トン(同111.7%)。  
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:632千トン)、飲用等向(予測値:343千トン)、乳製品向(予測値:289千トン)とも同程度で推移している。

【都府県の生乳需給】

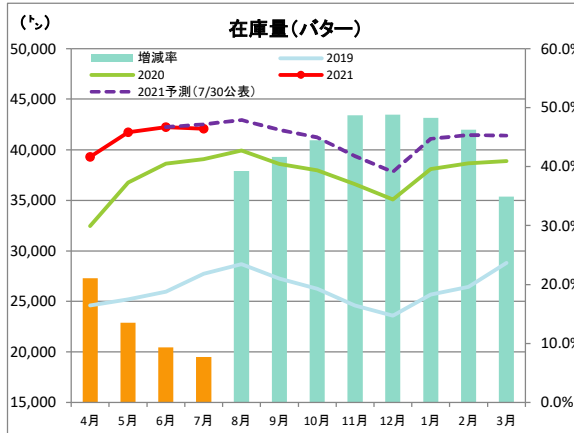
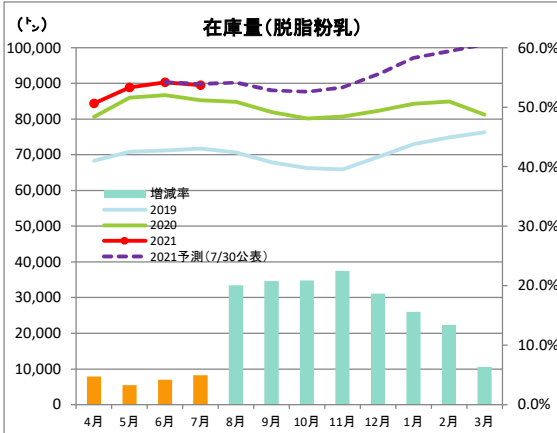
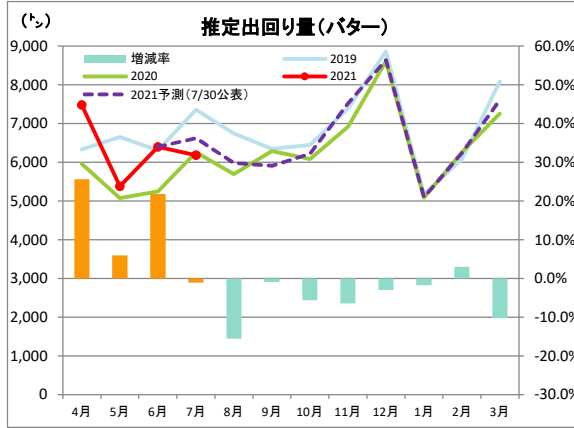
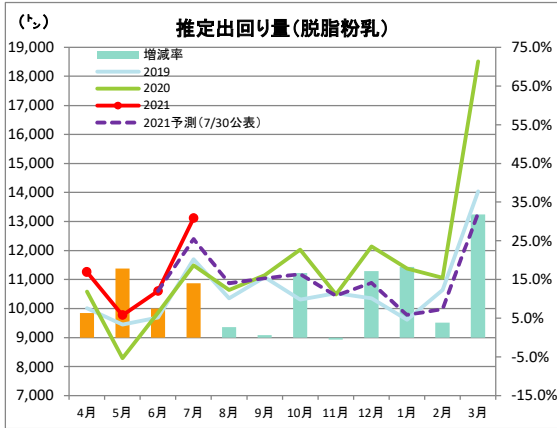
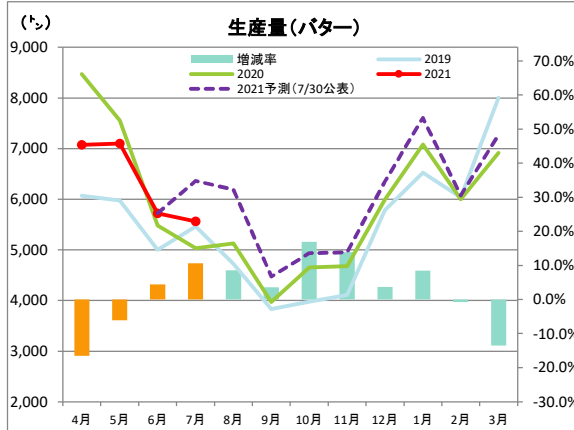
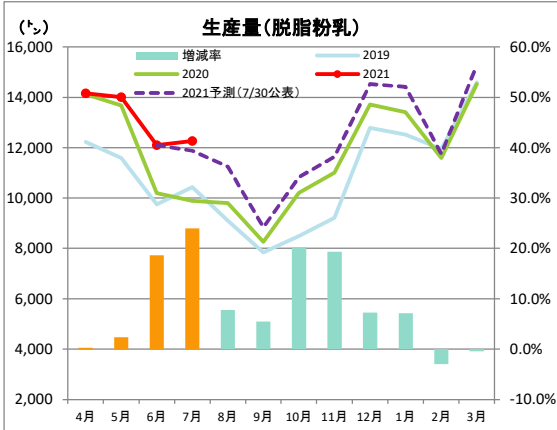
(1)7月は、生乳供給量271千トン(前年同月比100.4%)、牛乳等向292千トン(同94.4%)。  
 (2)北海道からの移入量について、46千トン(同74.7%)と前年大きく下回った。  
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:267千トン)、牛乳等向(予測値:289千トン)、北海道からの移入量(予測値:45千トン)とも若干上振れで推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】

(1)脱脂粉乳は、7月の生産量は12.3千トン(前年同月比124.0%)、推定出回り量は13.1千トン(同114.1%)、その結果、在庫量は89.5千トン(同104.9%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。  
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:12.4千トン)は上振れして推移している。

(2)バターは、7月の生産量は5.6千トン(同110.6%)、推定出回り量は6.2千トン(同98.9%)、その結果、在庫量は42.1千トン(同107.7%)。  
 推定出回り量(≒需要量)は前年を大きく上回って推移している。  
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:6.6千トン)は下振れして推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)8月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比95.5%、成分調整牛乳:同98.2%、加工乳:同97.2%、乳飲料:同88.2%。  
牛乳類では同94.6%

【参考】2019年度比…牛乳:104.8%、成分調整牛乳:95.2%、加工乳:94.8%、乳飲料:92.3%(牛乳類トータル:101.8%)

・販売単価は、牛乳:190.4円、成分調整牛乳:173.7円、加工乳:190.3円、乳飲料:150.7円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(9/6週)の販売個数は、牛乳:前年同期比98.6%、成分調整牛乳:同95.7%、加工乳:同92.9%、乳飲料:同84.9%。  
牛乳類トータルでは同96.0%

【参考】2019年度比…牛乳:100.7%、成分調整牛乳:89.3%、加工乳:88.0%、乳飲料:87.5%(牛乳類トータル:97.3%)

・販売単価は、牛乳:189.9円、成分調整牛乳:173.7円、加工乳:190.4円、乳飲料:150.4円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

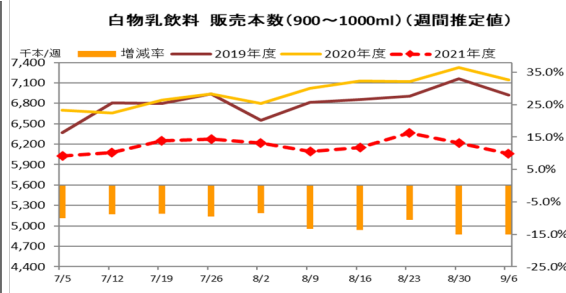
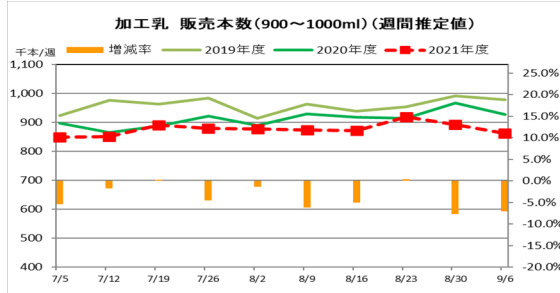
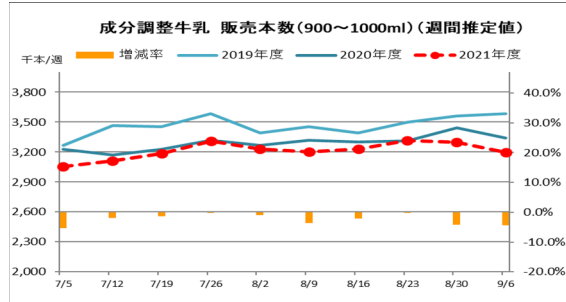
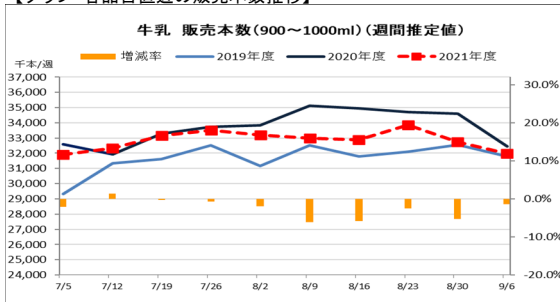
【表① 牛乳類の月別販売動向】

品目	区分	2021/4- 2021/5- 2021/6- 2021/7- 2021/8-					単位:千個、円
		販売個数	170,770	185,127	181,385	188,734	193,843
トータル	販売単価	182.6	182.5	182.3	183.0	183.5	
	販売個数前年比	89.1	88.7	94.0	98.2	94.6	
牛乳	販売個数	129,581	141,090	138,006	143,919	147,756	
	販売単価	189.5	189.2	189.2	189.8	190.4	
成分調整牛乳	販売個数	13,022	13,826	13,413	13,921	14,478	
	販売単価	172.8	173.0	173.2	173.6	173.7	
加工乳	販売個数	3,387	3,668	3,599	3,804	3,958	
	販売単価	189.2	188.7	187.7	187.8	190.3	
乳飲料	販売個数	24,780	26,543	26,367	27,090	27,651	
	販売単価	151.0	150.8	150.1	150.7	150.7	

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	7.19-	7.26-	8.2-	8.9-	8.16-	8.23-	8.30-	9.6-
		販売個数	43,494	43,973	43,525	43,146	43,151	44,465	43,155
トータル	販売単価	183.2	183.2	183.6	183.9	183.4	183.4	183.1	183.0
	販売個数前年比	98.3	97.9	97.2	93.0	93.2	96.5	93.1	96.0
牛乳	販売個数	33,168	33,506	33,195	32,981	32,898	33,863	32,744	31,984
	販売単価	190.1	190.1	190.5	190.7	190.4	190.3	190.1	189.9
成分調整牛乳	販売個数	3,185	3,308	3,233	3,202	3,230	3,314	3,298	3,198
	販売単価	98.7	99.7	99.0	96.5	97.8	100.0	95.7	95.7
加工乳	販売個数	890	880	877	873	872	919	892	862
	販売単価	100.2	95.5	98.7	93.9	95.0	100.5	92.3	92.9
乳飲料	販売個数	6,251	6,278	6,220	6,091	6,150	6,369	6,220	6,062
	販売単価	91.3	90.5	91.5	86.7	86.3	89.5	84.9	84.9

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



## 【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1) 直近の週次動向(表③参照)

直近(9/6週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2) 個食タイプは前年を上回った。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	7.19-	7.26-	8.2-	8.9-	8.16-	8.23-	8.30-	9.6-
ドリンクタイプ	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇
個食タイプ	👇	👇	👇	👇	➡	👇	👇	➡
大容量タイプ	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

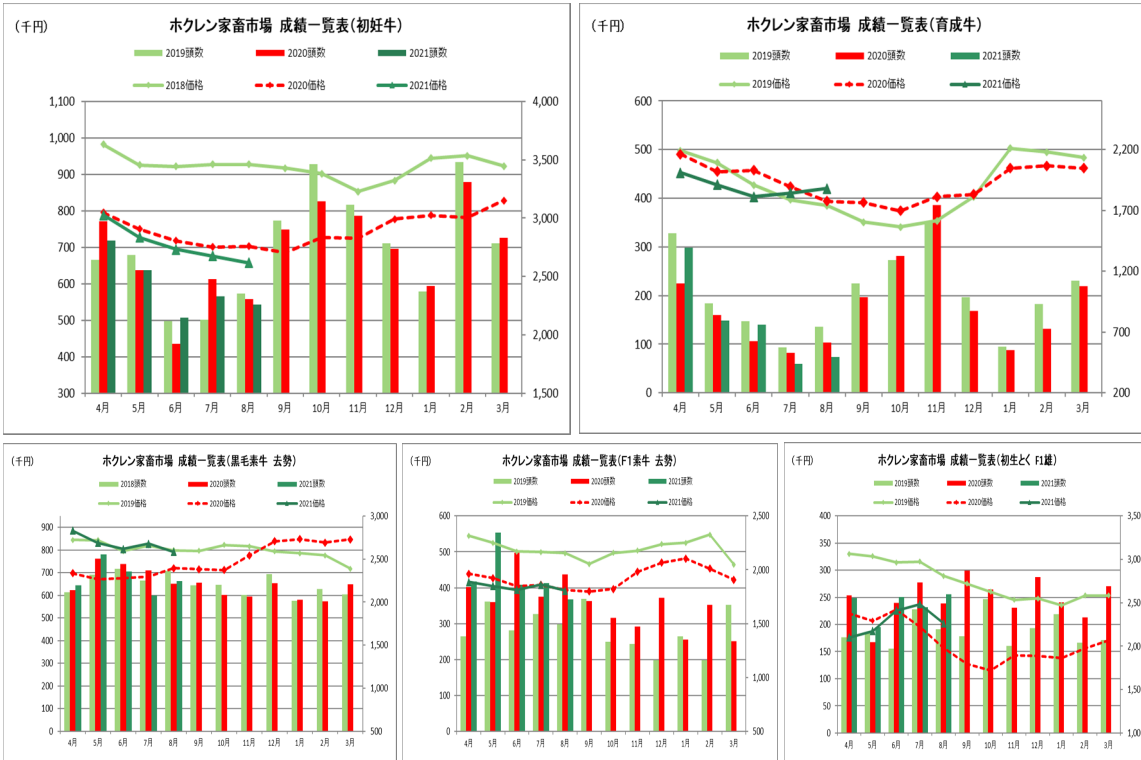
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



【家畜販売価格動向】

(1)8月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は658千円(前年同期比93.6%)、育成牛価格は420千円(同106.6%)、和牛素牛(去勢)価格は792千円(110.0%)、F1素牛(去勢)価格は392千円(同99.5%)、F1初生(雄)価格は202千円(128.7%)。  
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.9%、育成牛:同80.2%。また、和牛素牛(去勢):同101.5%、F1初生(雄):同104.3%は前年を上回ったが、F1素牛(去勢):同88.1%と前年を大きく下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



※「2021年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」